



第71回ニッコールフォトコンテスト
第4部 **TopEye & kids**
入賞作品発表!!



ニッコール
大賞

「青い世界の僕たち」柳生 陽音 [福井県立丹生高等学校]



受賞のコトバをどうぞ!!

「青い世界の僕たち」
柳生 陽音さん

川遊びの時に見つけた橋の下で、友人にモデルを頼んで撮影しました。「青い世界」をテーマに、背景の青信号まですべて寒色系に揃えるようにしました。水面の映り込みも入れるため、川に体を浸けて水面ギリギリにカメラを構え、波立たないようにじっとして撮影。そのうち日が暮れて気温も下がり、体力的にも今までで一番苦労した撮影です。今回を含め、友人たちのおかげで撮れた作品はたくさんあります。彼らに感謝し、これからも撮影を続けていきます。

WEB・SNS展開中。チェック&フォローお願いします

TopEyeの公式Instagramは上記のコンテストの入賞作品や取材のひとコマ、写真展案内などはりきって更新中。また、ニコイメージングジャパンの公式LINEはニコンの製品やキャンペーン、ニコプラザなどの最新情報をお届けします。ぜひフォローしてください!



「TopEye」
Instagram



ニコイメージングジャパン
LINE



ニコイメージングジャパン
「TopEye」WEBサイト

TopEye&kids

18歳以下

入賞作品発表

ささやかな日常への
眼差しを持って
外界と内面に
向き合おう



審査員・小林紀晴先生

作品の中に見出される、思春期のナイーブな心境や、ささやかな出来事への眼差しなどに懐かしさを感じ、時にハッとさせられる審査でした。ニッコール大賞の柳生陽音さん「青い世界の僕たち」は、青みを帯びた絵づくりや揺らぐ水面が、ある種のリアルさや切実さを帯びています。推選の金野理子さん「春来」は日常への眼差しをてらいなく撮った作品。特選の松本朔さん「西と東の不思議な地」は香港を題材に、東西の狭間で揺れる姿を新鮮な目線で捉えました。祖母の葬儀を取り上げた寺門美咲さんの「バイバイおばあちゃん」には、死を受け止める作者の心の変化の過程を感じます。加藤春樹さんの「源兵衛川の夏」は、富士山を源流とする憩いの川の空気感を大胆なフレーミングで見事に描きました。いつの時代も若者には、果敢に外界に触れて欲しい。同時に心の内も見つめ、写真を通して自身に向き合っていただけたらと思います。



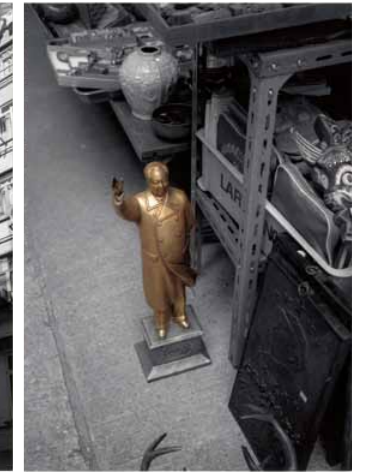
👑ニッコール大賞
「青い世界の僕たち」
柳生 陽音
【福井県立丹生高等学校】

特選



「バイバイおばあちゃん」 寺門 美咲 【女子美術大学附属高等学校(東京都)】

推選



「西と東の不思議な地」 松本 朔 【個人応募(東京都)】



「春来」 金野 理子
【帝塚山学院中学校高等学校(大阪府)】



「源兵衛川の夏」 加藤 春樹
【加藤学園暁秀高等学校(静岡県)】

入選



「見つけた」今紺 すず
[トキワ松学園中学校高等学校(東京都)]



「夕陽に包まれる放課後」
荻 朱里
[中越高等学校(新潟県)]



「彩りの前兆」佐野 琉希 [宮城県白石工業高等学校]



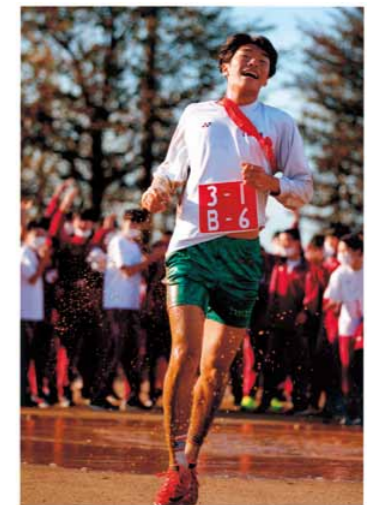
「悠々と」佐藤 颯人 [宮城県白石工業高等学校]



「魔法使い」板谷 佳音
[トキワ松学園中学校高等学校(東京都)]



「touch me!」
菊池 美香
[千葉県立四街道高等学校]



「学校一のお調子者」
南雲 美紗稀
[中越高等学校(新潟県)]



「輝くローファー」
澤田 奈々
[栃木県立鹿沼商工高等学校]



「僕らの夏」佐藤 李佳 [宮城県農業高等学校]



「月に導かれて」香取 正義 [個人応募(神奈川県)]



「翡翠」山田 裕之 [個人応募(愛知県)]



「放課後、君と...」木村 優花
[中越高等学校(新潟県)]



「光彩」渡邊 茉由
[富山県立富山東高等学校]



「夜」川野 慈月 [八代白百合学園高等学校(熊本県)]



「菜々花」前垣 七海
[八代白百合学園高等学校(熊本県)]



「無念」大石 楓華
[八代白百合学園高等学校(熊本県)]



「丑三つ時」堀 陽月 [帝塚山学院中学校高等学校(大阪府)]



「これからも」橘 祈海 [八代白百合学園高等学校(熊本県)]



「明日も」安里 すずら [沖縄県立浦添工業高等学校]



「縁の下の力持ち」齋藤 飛鳥 [福井県立丹生高等学校]

第71回 ニッコールフォトコンテスト 入賞作品展

今回掲載した第4部「TopEye&Kids」部門を含む全部門の入賞作品を一挙展示します。
高校生だけでなく、いろいろな世代による数々の力作をぜひ!

東京会場

ニコンプラザ東京 THE GALLERY 第1部/第2部 12月 5日(火)～12月18日(月)
第3部/第4部 12月19日(火)～1月8日(月・祝)

大阪会場

ニコンプラザ大阪 THE GALLERY 第1部/第2部 1月 5日(金)～1月11日(木)
第3部/第4部 1月12日(金)～1月17日(水)

(両会場とも) 営業時間 / 10:30～18:30(最終日は15:00まで) 休館日 / 日曜および年末年始(12月29日～1月4日)

秋山華子 × 熊切大輔 誌上インタビュー

秋山華子 (写真家)

大阪芸術大学写真学科卒業後、写真家・織作峰子氏に師事。ライフワークとして「普通」をテーマにスナップ撮影を行っている。大阪芸術大学写真学科非常勤講師。ニコンカレッジ講師、ニコールクラブアドバイザー。

熊切大輔 (写真家)

東京工芸大を卒業後、日刊ゲンダイ写真部を経てフリーランスの写真家として独立。スナップで東京の今を撮り続けている。ニコンカレッジ講師、ニコールクラブアドバイザー。公益社団法人 日本写真家協会会長。

今年度の「TopEye フォトコンテスト」の審査員は、秋山華子先生と熊切大輔先生が務めます。
お二人とも、現代の街と人を見つめるスナップ写真の名手。ただし、視点や感性、切り取り方はびっくりするほど違います。
それぞれ、写真についてどんな考えを持っているのか、いろいろ聞いてみました!

Q1 どんな写真を撮っていますか?



▲秋山先生撮影
高層ビルの間に見つけた、時間が止まったかのような空間。人々が廃屋に目も留めず歩く様子に郷愁の念を感じ、思わずカメラに向けた作品。

街や人の「瞬間を切り撮る」スナップ撮影を行っています。心がけているのは、ストーリーを感じる表現。被写体そのものが印象的なだけでなく、背景など周辺も巻き込んで「ドラマ」を感じさせたい。特に、激動を極める今の「時代」しか撮れないものを、しっかりと残していきたいと考えています。
(熊切)



熊切先生撮影 ▶
雨の日の撮影終盤に現れた虹をとらえ、虹の橋を渡るような構図を工夫。少しハイキーに仕上げ、日差し力強さを表現しました。



日常風景の中にある生活の痕跡や、その街に普遍的に存在し続けていることが感じられる被写体を追い求めています。最近のテーマは「街の景色に溶け込む人」。普段見過ごしがちな街や駅の風景を捉え直したいと思っています。また、自分の撮影スタイルから常に脱却を図り、より良い写真づくりに挑んでいます。
(秋山)



同じ「街と人」でも、全然違う感じに撮れるんだね!

Q2 撮影時の思い出を教えてください!

思い出というより、撮影は毎回印象深いですね。でも、撮影の成果を確かめる時、事前に思い描いたイメージが実像として表れた時の達成感は、一度味わったらやめられません。
(秋山)

フィルム写真の時代、新聞社のカメラマンでした。ある撮影で、決定的瞬間が撮れた!と思ったらカメラにフィルムを入れてない!...もう、帰りたくなりました(泣)。皆さんも、SDカードや予備バッテリーを忘れないでね!
(熊切)

Q3 中高生の写真をどう思いますか?



「自分がどんな写真を撮りたいのかを言語化し、分析・探究しよう」と秋山先生。

両先生はこの夏、ニコンプラザ 東京・大阪で「高校写真部員向けフォトセミナー」の講師を務め、講義や生徒作品の講評を行いました。



「日々撮り続けるとテーマが見える。コミュニケーションにつながる撮影を」と熊切先生。

先日の高文連の「写真部員向けフォトセミナー」で皆さんの写真を拝見し、それぞれが好きな世界観を持って撮影していると感じました。イメージを形にする苦労はありながら、楽しんで取り組む姿がいいですね。
(秋山)

高校生の作品は、お世辞でなくレベルが高い。私が会長を務める公益社団法人日本写真家協会(JPS)の写真展でも「高校生の作品は大人よりレベルが高い」という声が聞かれました。最近は表現の幅も広がっていると感じます。
(熊切)

Q4 写真を続けるコツは?

モチベーションの維持には、撮影テーマを持つのがいいですね。1週間や1か月など短期間のテーマやモチーフで撮影していくうち、長期的なテーマと出会えることもあります。大切なのは楽しむこと。「楽しくなければやらない」くらいの気持ちで!
(秋山)

諦めないこと。つきなみですが継続は力です。何か一つ、自分なりの大きなテーマを追い続けるのも、撮影を続けていく目標となるでしょう。
(熊切)



楽しんで、続けることが大事!

Q5 読者へのアドバイスを!

多くの作品を見て刺激を受けることが、表現活動の活力となります。コンテスト応募も良い方法。応募をきっかけに自分の写真と向き合い、自分だけの感性を見つけてほしいと思います。
(秋山)



今の自分は何に興味があるのか? それを見極めることが、写真活動には大事です。「ウケる」「映える」も楽しいですが、しっかり自分と向き合い「今」を捉える作品は、シンプルでも力を持ちます。TopEyeフォトコンテストでも、そんな作品を待っています!
(熊切)



1月15日 必着
2023年度 TopEyeフォトコンテスト 作品募集中!!



お待たせしました。年に一度のTopEyeフォトコンテストの作品募集ははじまります。今号同封の「募集要項・応募用紙」によく目を通し、皆さんの力作をどんどん送ってください!

入賞作品は次号(2024年春号・2月下旬発行予定)誌上で発表し、来春ニコンプラザ(東京・大阪)で展覧会を行います。

第47回 全国高等学校総合文化祭
2023がごしま総文
2023 KAGOSHIMA soubun



写真部門：2023年7月30日(日)～8月1日(火)

この夏は鹿児島市内で開催!! 地域の魅力を満喫できる撮影会や写真家の講演会、全国の写真仲間との交流会など、今後の活動を力強く後押しするプログラムでした。



三好氏、山口氏を講師に、霧島アートの森、鹿児島市内、平川動物公園の3コースで撮影会。



生徒の皆さんは三好和義氏、顧問の先生は山口規子氏の講演会で写真の理解を深めました。



ニコンプースではZシリーズのカメラとニコンちゃんがお出迎え!



生徒交流会には全国の写真部が集結!

第47回 全国高等学校総合文化祭
写真部門優秀作品展

今回の総合文化祭に出品された作品の優秀作100点を、8月にニコプラザ東京、9月にニコプラザ大阪にて展示。たくさんの方にご覧いただきました。



宮城県高文連 第20回 夏季写真撮影大会
2023年8月8日(火)～8月10日(木)

宮城県の撮影大会が、220名の高校生を迎えて3日間にわたり開かれました。1日目は講師による講演会、2日目は2班に分かれての撮影会。最終日は全参加者の作品の講評に優秀作の表彰という盛りだくさんの内容でした。

会場：トークネットホール仙台、仙台西公園 講師：ミゾタユキ氏、茅原田 哲朗氏 主催：宮城県高文連写真専門部



ニコンのZ5、Z50の貸し出しもおこなわれました。



講演会では、2人の講師が作品づくりのヒントを伝授!



全員の作品をていねいに講評。役立つアドバイスも!



ニコンNEWS

ニッコールクラブのコミュニティサイトで、写真の世界を広げませんか?

PHOTO HUB
by nikkor club

この9月に誕生した、ニコンの写真コミュニティサイト。ニッコールクラブ会員向けですが、一部コンテンツは誰でも無料でアクセスできます。有名写真家の作品や記事、会員の投稿写真は、撮影の大きなヒントになるかも。部活仲間や顧問の先生と、ちょっとしたのぞいてみませんか?



URL: nc-community.nikon-image.com または PHOTO HUB で検索

世界広がる ①

プロ写真家の特集記事が無料で読める!

ニッコールクラブ会報誌の一部バックナンバーの中で、有名写真家が執筆した特集記事を作例写真付きで無料公開。様々な撮影ジャンルの第一人者の撮り方を学ぶチャンス!

世界広がる ②

会員の投稿写真を鑑賞できる!

日々写真を楽しみ腕を磨いているニッコールクラブ会員が、力作を投稿している「メンバーズ・フォト」もあります。撮影データや場所が記載されている写真もあるので、参考になるかも。

世界広がる ③

会員の写真展情報も見られる!

プロを含むニッコールクラブ会員がニコプラザ(東京・大阪)で開催する写真展情報も載っています。ピンと来たら足を運んでみては?



入会無料
キャンペーン
2024年3月31日まで

入会金
年会費
無料!

詳しくは
QRコード
から



※中高生の入会は、保護者の同意が必要となります。

お問い合わせはこちら

TopEye編集部 (株式会社 ニコン イメージング ジャパン)

E-mail: topeye@nikon.com

次号は 2月22日 発行予定

TopEyeフォトコンテスト受賞者&作品発表!!